



か ん ご

れんめい大分

平成24年9月15日発行

第49号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



6月27日「ホップⅡ」
湯布院厚生年金病院

石田まさひろ氏…豊後路へ



くじゅう花公園 (大分県久住高原)

もくじ

ごあいさつ/新旧役員あいさつ	2・3P
看護が豊かに行われる社会づくり	4P
石田まさひろの政策主張	5P
ホップⅠ	6P
ホップⅡ	7P
平成24年度通常総会 日本看護連盟・大分県看護連盟	8P
会員研修会・第2回ポリナビワークショップinおおいた・OB会支部研修会	9P

平成24年度
大分県看護連盟 会員数
(平成24年8月末現在)

連盟会員	3,437名
賛助会員	41名

ごあいさつ

水、山、緑と自然に恵まれた大分県ですが、雨、風等の自然災害が多くなり、また、被害の規模も大きくなっていると感じられます。今夏の九州北部豪雨災害で被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

日頃より看護連盟へ力強いご支援・ご協力を頂き、深く感謝致しております。

平成 24 年度の大分県看護連盟通常総会を 7 月 8 日に開催し、規約の一部改正をはじめ、すべての提出議題を承認していただきました。ありがとうございました。

総会に引き続き、「石田まさひろ政策推進集会」を開催致しました。

石田まさひろ前日本看護連盟幹事長を 6 月 15 日の日本看護連盟通常総会で、看護職の代表として、次期参議院選挙の候補予定者とする事が決定されました。

石田まさひろ候補予定者は、私たち看護職がいきいきと“いい看護”を提供したと実感でき、患者さんも“いい看護”を受けたと実感してもらえるような現場をつくるために、国政にいけるように努力したいと決意を述べています。看護職が誇りと自信を持ち、いきいきと働き続けられる職場の環境づくりのために、政治の果たす役割は大きいと思います。

看護職の代表として、石田まさひろ候補予定者を国政の場へ送り出すために、ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

今夏の豪雨災害に際しまして、他県の看護連盟会長さんよりご心配頂き、お見舞いのご連絡を頂きました。お心遣いに感謝申し上げます。



大分県看護連盟
会長 安東 和代



今年の夏は全国のあちこちで 35℃・36℃といった異常気象に見舞われました。夜は夜でロンドンオリンピックで熱くなり・・・なかなか見ごたえのあるゲームが多かったですね。

その合間に国会の方にも大きな動きがありました。内閣不信任案が提出されそうになった途端、野田総理が近いうちの解散に言及することによって自民・公明の協力を得、懸案の社会保障と税の一体改革関連法案の参議院採択が行われました。今は「近いうち」とは何時か、解散の時期を巡って与野党の攻防が始まっています。いずれにしてもそう遠からず衆議院選挙があると思われませんが、その結果が来年夏の参議院選挙へ良い影響を与えてくれることを期待したいものです。この暑さの中でも石田まさひろさんは元気に全国を飛びまわっていますが、その元気の源は会員の皆様からのエネルギーに間違いありません。これから約 1 年、大分県の各支部の隅々までエネルギーが充満してくることを願っております。



日本看護連盟
会長 清水 嘉与子



看護協会長としての抱負

7 月の「大分県豪雨」で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。大分県看護協会は、「災害支援ナース」の派遣および「義援金」を通して今後も支援を継続したいと思います。さて、当協会は、平成 24 年 4 月 1 日付けで公益社団法人への移行が完了しました。6 月 23 日の通常総会ですべての審議事項が承認され、7 月より新事業がスタートしました。特に超高齢社会の対応策として、病院と介護そして在宅への看護連携の強化を推進しています。11 月 3 日は、「いいお産の日」とし、少子社会において妊娠・出産・育児について語り合い、命の大切さを共有したいと思います。看護界が大きく飛躍するなか、看護政策実現の為、次回参議院選挙の看護連盟組織代表として石田昌宏氏が決まりました。看護界発展のため、看護協会として大いに期待し、応援したいと思います。



大分県看護協会
会長 松原 啓子

新旧役員あいさつ



新 副会長
藤澤 キクノ

この度、任期満了で退任された立川タヨ子氏の後任として副会長に選任された保健師の藤澤です。素晴らしいパワーを持った前任者に少しでも近づけるように頑張りますのでお願いいたします。

私は看護職能として半世紀近くを働いてきましたが、看護に関するさまざまな問題を解決するためには、看護職の代表を国政の場に送り、必要な看護政策を実現していただくことと強く感じていました。前回の選挙では、みな様の力強いパワーで、たかがい恵美子議員を国会に送り出すことが出来ました。

今回は石田まさひろ氏を国会に送り出すため力を合わせて頑張らしましょう。



新 監事
宮崎 加代

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶びを申し上げます。

この度大分県看護連盟の監事を拝命いたしました、宮崎加代です。よろしくお願ひいたします。7月に平成24年度の大分県看護連盟通常総会が開催されました。終了後石田まさひろ氏の政策推進集会がありました。その中で、諸先輩や若手会員からの熱いメッセージがありました。とても心が熱くなりました。とうとう第23回参議院選挙がカウントダウンされました。次世代に繋ぐためにも看護制度改善と労働条件の改善のため強力なる政治活動が必要です。まず看護職の理解者・協力者を増やしていくこと、そして積極的に周りの方との関係づくりが必要だと思ひます。着実に会員獲得に向けていざ出発です。会員の皆様のご健康とご活躍を祈ります。



前 副会長
立川 タヨ子

私達看護連盟会員は組織活動に参加して参りました。昭和34年から多くの組織代表者を国会に送り続けてきました。看護職の地位向上や待遇改善、教育等たくさんの恩恵を被りました。

しかし、まだ十分とは言えません。医療現場は日進月歩です。看護職が満足して働けるようになるまで、即ち我々の対象であるすべての患者さんが幸せになるまで、政治活動は続けなければなりません。石田候補はきっと何か行動を起こしてくださるでしょう。是非応援してほしいです。

7月の総会で役員を退きました。皆様方には大変ご迷惑をおかけしましたが、今後とも選挙のため戦い続けたいと思ひます。先ずは長い間ありがとうございました。



前 監事
板倉 公子

平成18年以來6年間にわたり監事の仕事にかかわらせていただきました。皆様にご指導をいただき深く感謝申し上げます。

この間、二度の参議院議員選挙を戦い悔しさと喜びを味わいました。国政の場に私達の代表を送る事がいかに難しいかを実感しました。看護政策実現のために私達に出来る事は必ず投票に行くことです。

また役員会で支部長さん達の活動報告を聞くたびに看護連盟を理解して頂くことが容易ではない事もわかりました。連盟活動で多くの事を学ばせて頂き有難うございました。今後は一会員として「熱伝導」をキーワードに頑張りたいと思っております。



日本看護連盟の連盟章(シンボルマーク)は、ハートマークを図案化したもので、ハートマークは「愛」「こころ」を表し、看護のこころや慈愛にみちた看護を意味し、2つのハートの繋がりは、看護協会と看護連盟が力を合わせ一つになって「看護の道を切り開く」を表現したものである。

専門家に依頼し考案中であった会員徽章が定価1個30円で昭和23年11月制定された。ナイチンゲールの手にした光明のランプを、大和撫子を象徴した撫子の花片で囲み、緑、白、濃紺、赤と各部会色を美しく配して保・助・看の銀字を入れた2センチ大の七宝。その後昭和31年会館火災により在庫が焼失したので、従来のデザインを少しかえて、まわりを銀のふちどり保・助・看の文字をJ・N・Aと替え、ニッケル製、大きさを直径1.5センチと少し小さくした。

※J・N・Aは、Japanese Nursing Association の略です。

看護は、人のいのちと暮らしを守り、未来に希望を与える

看護師
保健師



▶プロフィール

- 1967年(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ。
- 兵庫県の甲陽学院高等学校卒業
- 東京大学医学部保健学科卒業
- 看護師として聖路加国際病院他で勤務
- 日本看護協会、日本看護連盟で勤務

家族:妻・子供2人
趣味:観賞魚飼育、神社巡り、



看護が豊かに行われる社会づくり 安心・安全で幸せに暮らせる日本の未来のために、私が取り組むこと



健康

生涯元気でありつづけるために、「健康」をキーワードに医療、保健、環境、食などの環境づくりに取り組みます。

福祉

誰もが住み慣れたまちで暮らし続けるために、医療、介護、福祉を一体化させ地域ケアの充実に取り組みます。



子育て

子どもたちの笑顔あふれる未来のために、保育、教育、女性の労働など、トータルで安心な子育て支援の充実に取り組みます。



雇用

若者も、高齢者も、障がい者も、女性も生きがいを持って働き続けるために、就労支援の充実と働きやすい環境づくりに取り組みます。

昌宏 石田まさひろの基本理念

超高齢少子社会を迎えたわが国。誰もが、住み慣れた地域で、安心して子どもを育て、生きがいのある仕事を続け、豊かな老後を迎えたいと望んでいます。しかし、この誰もが望むあたりまえの社会が、今、消えつつあります。人間らしい生活をみんなが送れる社会を築くには、健康、福祉、子育て、雇用を最重要課題に位置付け、社会保障の充実を急がなければなりません。私は看護師の立場で、国民の暮らしの現場から、国民の声を聴き、社会保障制度の何を守り、何を变えていくべきかを徹底的に検証し、世界に誇れる「安心安全で幸せに暮らせる日本」の実現のために、全力で取り組みます。

石田まさひろ政策研究会(後援会) 入会申込書の配布と回収

【第3ステージ】9/2～12/31

対象は…知人・友人

1人でも多くの方々に声をかけて入会者を増やしましょう！！



石田まさひろ政策研究会の入会者をご紹介ください

紹介者氏名	電話番号	住所
氏名		
〒		
市町村		
番		
号		
フリガナ		
氏名		
〒		
市町村		
番		
号		
フリガナ		
氏名		
〒		
市町村		
番		
号		
フリガナ		

facebook 友達になってください



石田まさひろを応援しましょう!

石田まさひろ政策研究会会長 大島 敏子



石田まさひろさんは、15年位前に看護協会の政策企画室に勤務していた頃、私と一緒に診療報酬の勉強会をしていた時の中心的人物でした。その頃から現在まで、社会の中で看護が正しく評価されるために考え行動し続けています。情報収集能力・分析力抜群で現場志向の石田まさひろさんの看護の未来を創る熱い情熱を応援しましょう。

▶石田まさひろの政策主張



超高齢少子社会に、人が幸せに暮らすために看護の力が今まで以上に求められています。

新しい命を産み育てるためには、助産師らの力が慈愛の輝きになります。地域で健康に過ごすためには、保健師らの力が生きる喜びになります。闘病生活を無事乗り越えるには、看護師らの力が希望の光になります。医療がすべての効力を失った後も、看護の力で最期の日々を見守ります。

看護が豊かに行われる社会づくりのために私は、次の政策に全力で取り組みます！

安心・安全で幸せな暮らしを支える安定した社会保障制度づくり
社会保障分野に活力を与える人材の確保と育成
ケアの質の向上と社会全体へのケアの普及
創造性や情緒を育み社会性を身につける教育制度づくり



詳しくはホームページを!!
<http://www.masahiro-ishida.com/>



▶看護が豊かに行われる社会づくり

1

ケアする人たちを支えます

看護職の確保対策の推進
離職防止のための職場環境の向上
職種間の役割分担の見直し
責任に見合った給与体系の見直し
超高齢少子社会に対応する保健医療福祉の抜本改革

2

時代や社会にあった看護を提供します

高度な看護実践を促すしくみづくり
看護基礎教育の見直しと生涯教育の充実
看護職が活躍する場の拡大
暮らしを支える地域ケアの充実
チーム医療・チームケアの推進
あらゆる災害に対応できる看護体制の充実



石田まさひろさんを
推薦します

日本看護連盟会長
清水 嘉与子

石田まさひろさんは東京大学医学部保健学科卒の保健師・看護師でまだ44歳の若さ。臨床の現場、国会議員秘書、日本看護協会政策企画室長、日本看護連盟幹事長と多彩な経験を通して、多くの看護師たちに信頼され、若者からも兄貴分として大変慕われています。特に東日本大震災発災後に見せた素早い救援活動が被災地の会員たちに大きな評価を得たように、行動力は抜群です。困難なことがあっても、常に前を向いて進む姿勢を頼もしく思っています。

大分中村病院 ⇒ 大分赤十字病院 ⇒ 大分循環器病院 ⇒ 永富脳神経外科病院 ⇒ 大分県看護協会 ⇒ 大分県立病院 ⇒ 大分三愛メディカルセンター ⇒ 大分記念病院 ⇒ 大分市医師会立アルメイダ病院、大分市医師会看護専門学校 ⇒ 天心堂へつぎ病院



大分中村病院



大分赤十字病院



大分循環器病院



大分県立病院



永富脳神経外科病院

ホップI

平成24年3月15日(木)

初めての大分でのホップIが、3月15日に開催され、大分県での活動開始にあたり、元日本看護連盟会長有田幸子様の前立候補の報告をし、出発しました。



大分記念病院
「歓迎 石田昌宏先生」



アルメイダ病院



大分三愛メディカルセンター



天心堂へつぎ病院

石田まさひろを励ます会

午前中、OB会支部と大分地区の4支部で集会を持ち、その後、「石田まさひろを励ます会」を開催しました。永瀬顧問、安倍助産師会会長、式田支部長、アカデミー修了者小川央さんの力強い心のこもったメッセージを聞き、石田候補予定者もパワーをもらったように思いました。
(幹事長 加藤富美子)

(日時) 平成24年3月15日(木) 13:00~14:00
(会場) 大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」



大分県助産師会
安倍本子会長



大分県看護連盟
永瀬フミエ顧問

い 良い看護ができる。
し 信じられる未来の実現に向けて
だ 団結しよう。全国の看護師！
ま まさに
ま 英雄だ！



小川央氏



大分北部地区支部
式田公枝支部長

施設訪問(玖珠・日田地区支部 由布地区支部)

みなさまの笑顔が励みになります!!

大分県立看護科学大学 ⇒ 大分大学医学部附属病院 ⇒ 中部保健所 由布保健部 ⇒ 日野医院 ⇒ 岩男病院 ⇒ 湯布院厚生年金病院(ミニ研修) ⇒ 玖珠記念病院 ⇒ 日田リハビリテーション病院 ⇒ 昭和学園高校 ⇒ 大河原病院 ⇒ 岩尾整形外科病院 ⇒ 日田中央病院 ⇒ 日田医師会立日田准看護学院 ⇒ 大分県済生会日田病院(ミニ研修)



大分県立看護科学大学



大分大学医学部附属病院



中部保健所 由布保健部



日野病院

ホップⅡ

平成24年6月27日(水)



岩男病院



湯布院厚生年金病院



湯布院厚生年金病院(ミニ研修)



玖珠記念病院



日田リハビリテーション病院



大河原病院



岩尾整形外科病院



日田中央病院



「看護のいしだ なんだ かんた 石田!」
済生会日田病院(ミニ研修)



3月のホップⅠに続き、ホップⅡが行われました。どの施設でも大分市の中心部と違い、看護職の人員不足が一番の悩みだと看護部長が話をされていました。石田候補予定者も熱心に耳を傾け、質問をされていました。ミニ集会が2施設で行われ、平日にも関わらず多くの方の参加がありました。

引き続き、下記の日程で、ステップ!ジャンプ!が開催されます。ご支援・ご協力をお願いします。

石田まさひろ政策研究会活動予定

ステップ

平成24年9月 6日(木)
平成25年 1月22日(火)
平成25年 1月23日(水)
平成25年 2月14日(木)

竹田・豊後大野地区支部
国東・杵築・日出地区 / 別府地区
臼津・佐伯地区
豊後高田・宇佐・中津地区

ジャンプ

日時:平成25年5月20日(木)
会場:未定

平成 24 年度通常総会 日本看護連盟

日時:平成24年6月15日(金)
 会場:東京プリンスホテル「鳳凰の間」
 出席者数:1,722名(大分県より、代議員16名・一般5名出席)



総会出席者



国会議事堂



石田まさひろを国政へ



永富脳外科病院
伊藤陽介

今回、初めて総会に出席して、看護と政治や石田さんの思い等、多くのことを学びました。看護現場の問題解決のため、現場の問題を理解している者が政策に加わらないと変わらない。それを看護師一人ひとりが認識し、思いを届けるために一票を投じることが、これからの看護界の発展や社会保障の充実に繋がってくるのだと確信しました。看護師や患者さんが共に「良い看護」を実感できるよう、この経験を今後の連盟活動に活かしていきたいと思えます。



大分赤十字病院
安田真弓

今回、日本看護連盟通常総会に初めて参加させて頂きました。総会は、1722名と多くの出席があり人数の多さに驚きました。また、清水会長・坂本会長の挨拶では、改めて連盟と協会の強い結びつきを感じることができました。そして総会後の決起大会では、石田まさひろさんが登壇し、会場は大声援と熱気に包まれました。石田さんは熱く、力強く看護に対する思いや熱意を語られ、その思いに共感し大変感銘を受けました。看護の現場をよりよいものにするため国会に代表を送り出せるよう、今後も若手会員の一人として活動していきたいと思えます。

平成 24 年度通常総会 大分県看護連盟

日時:平成24年7月8日(日)12:30~14:50
 会場:大分県看護研修会館3F「大研修室」
 出席者数:2,680名(出席:259名・委任状:2,421名)

平成24年度スローガン 「ベッドサイドから政治を変える！」 ～看護職の代表を熱伝導で、国政の場へ～



平成24年度会員歴20年表彰は、27名の方が受賞されました。



報告事項・提出議案はすべて承認・可決されました。



名誉会員 板屋文恵様に名誉会員証をお渡ししました。

石田まさひろ政策推進集会

日時:平成24年7月8日(日)15:00~16:30
 会場:大分県看護研修会館3F「大研修室」
 出席者数:133名

総会終了後、引き続き集会が行われました。日本看護連盟 阿津幹事長より、石田さんの紹介があり、出席者に、石田まさひろ候補予定者から看護に対する熱い思いを伝え、看護職の先輩方からは、力強い励ましの言葉を送り、現場からはさまざまな問題点の提起がありました。最後に若手会員委員会の秋吉委員長が看護政策推進集会宣言を行いました。(幹事長 加藤富美子)



日本看護連盟
阿津公子幹事長



大分北部第2地区支部
田辺美智子支部長



小川央氏



大分記念病院
東美幸看護部長



大分県看護連盟
永瀬フミエ顧問



大分県助産師会
安倍子前会長



阿南和代氏

研修会報告

会員研修会

日時:平成24年3月6日(火)13:00~15:30
会場:大分県看護研修会館(3F)「大研修室」
出席者:134名

特別講演

演題:「コーチングの基礎と看護現場での事例」

講師:株式会社コーチ・エィ
坪田 康佑 先生



会員研修会に出席して



大分記念病院
金田美紀



別府リハビリテーションセンター
下條 明美

研修会に参加して、コーチングの基礎は、まず言葉を交わすことから始まると実感した。言葉を交わすことで、初めての出会いであっても相手に自分のことを伝えようとし、その主体的な関わりが相手に対する気構えをほぐしていることに演習を通し気づかされた。心が和んだ後、臨床現場で起きている人間関係上の課題とコーチングの意義について分かりやすく話された。コーチングでは、まずお互いの理解が原則となる。そのために、相手の気持ちを聞くスキル、双方向の会話を生み出すスキルが求められる。相手に注意を向け、相手に聞いてもらえているという気持ちを持ってもらう関係性が大切と力説された。

さらには、オープンな質問で気づきを与えること、安心して質問について考えられる環境を提供することが、コーチングを通じた教育であると再認識することができた。コーチングを意識して使うことは、教育的関わりを踏まえた成長を生み出し、職場のモチベーションが向上し、さらには職場の活性化や医療事故予防にもつながることを理解することができた。職場環境をよりよくするためにも、コーチングをうまく使いこなせることが、私の今後の課題である。

コーチングとは、「相手の目標を達成(ゴール)させること」であり、コーチングの三原則は・・・

①双方向(話し合う)②個別対応③継続 であることを話された。

この三原則を面接に活用し、相手の能力を引き出すことで、目標達成に近づくことが出来る。面接は1度だけではなく、継続してサポートしていくことが大切であり、目標面接の中からは多くの気付きも生まれてくる。

この研修では、GWもたくさん盛り込まれたおり、その中から学んだ三原則や双方向の会話を生み出すコツ、質問のスキル向上のコツ等を参考にしながら、今後の目標面接を実践していきたいと思います。

第2回ポリナビワークショップ in おおいた

日時:平成24年3月11日(日)12:45~16:30
会場:大分県看護研修会館(3F)「大研修室」
出席者:99名

第1部 特別講演

「看護と政治力」

講師:前 日本看護連盟 幹事長
石田 昌宏 先生



第2部 講演「災害支援について」



「大分県看護協会の災害支援の取り組み」
大分県看護協会常務理事 藤垣則子氏



「東日本大震災の救護に参加して」
大分赤十字病院 林加奈子氏

若手会員委員会 委員長 秋吉 和恵

2012年3月11日、「第2回ポリナビワークショップ in おおいた」を開催しました。ポリナビ当日が東日本大震災からちょうど1年にあたることから、自分たちが看護職としてできること、できないことは何かを考える機会になればと思い、「いま私たちにできること、できないこと」というテーマで企画しました。

特別講演では、日本看護連盟前幹事長の石田昌宏先生に「看護と政治力」というテーマで講演をしていただきました。石田先生がいきいきと看護を語る姿が印象的で、「ベッドサイドから政治を変える!」のは私たち自身であるということを実感しました。

第2部では「災害支援について」というテーマで、東日本大震災の災害支援に携わった2名の方に講演をしていただきました。

第3部ではグループワークを行い、いま現場でできないことについて話し合いました。他施設の方と話すことで、病院は違っても抱えている課題は同じだということを感じていただけたのではないかと思います。今回のポリナビの反省を踏まえ、大分の若手看護職が自分の仕事や看護について考え、楽しめる企画を考えていきたいと思います。ご協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

OB会支部研修会

日時:平成24年3月15日(木)10:30~14:00
会場:大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」
出席者:46名

特別講演

「外から見た大分の魅力~人材輩出地・大分」

講師:辻野 功 先生



「大分県看護連盟の現状について」
大分県看護連盟 会長 安東和代

平成24年3月15日(木)、大分県看護研修会館「第1研修室」で、OB会支部結成報告と、会員の親睦を兼ねて研修会を開催し46名が参加した。大分県看護連盟の現状について安東会長より説明があり、OBの方々が築いた礎の上に今があることが伝えられた。

特別講演に、辻野功先生を招き、「外から見た大分の魅力~人材輩出地・大分」の講演をいただいた。大分県は、大友宗麟の時代から日本の節目節目に重要人物を多く輩出している。もっと大分を学び、自慢上手になっていいと力をもらった。

お弁当を食べながらの親睦会は、久しぶりの出会いに会話が弾み大いに盛り上がった。

午後からの「石田まさひろを励ます会」での出会いを楽しみ、来年の参議院選への気運が高まった会だった。(OB会支部長 糸永和代)

研修会等のお知らせ

研修会	日時	会場	内容
看護管理者研修会 ※臼津・佐伯地区支部主催	平成24年9月21日(金) 18:00～19:00	佐伯市保健福祉総合センター 「和楽」	「看護管理者として今重要なこと」 講師:日本看護連盟 副会長 大島敏子先生
看護管理者研修会 ※県主催	平成24年9月23日(日) 10:00～12:00	大分県看護研修会館 2F「研修室1」	「看護管理者として今重要なこと」 講師:日本看護連盟 副会長 大島敏子先生
リーダーセミナー (施設連絡員・病棟連絡員)	平成24年11月26日(月) 13:30～16:00	大分県看護研修会館 3F「大研修室」	日本看護連盟 幹事長 阿津公子先生
ポリナビワークショップin おおいた(研修会)	平成25年1月22日(火)	(未定)	講師:石田まさひろ先生
一般会員研修会	平成25年1月予定	(未定)	「看護記録について」(予定)

平成24年度連盟会員を募集しています!! 平成24年度
会員目標 **3,500名**

ベッドサイドから
政治を変える!



連盟会費 年間**7,500円**

日本看護連盟
会費 **5,000円**

+

大分県看護連盟
会費 **2,500円**

=

年会費
7,500円

特典

- ◆連盟主催の研修会に無料で参加できます。
- ◆機関紙「アンフィニ」の配布(年3回)や情報の配信
- ◆「れんめい大分」の配布

◆賛助会員 **1,000円**

◆学生会員 **無料**

★詳しくはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】大分県看護連盟

〒870-0855 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館

TEL (097) 574-7088 FAX (097) 574-7517

e-mail : oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

確かなものを、贈りたい。 Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の
ハム・ソーセージの
詰合せをどうぞ。

丸大食品株式会社
九州特販営業課

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8
TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122



編集後記

ロンドンオリンピックの熱い、暑い夏が終わりました。石田まさひろ候補予定者の豊後路活動や新企画の大分県若手会員ニュースレターと盛沢山の内容でしたがいかがでしたか。今後とも会員の皆様に興味を持って読んでいただける会報作りをめざしてがんばりたいと思います。

広報委員一同



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛の羽毛ふとん

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。



東洋羽毛九州販売(株)福岡営業所

フリーコール 0120-104-557